



京都

労福協

No. 70
2021.8

一人は万人のために、万人は一人のために

TOPIC

1

第65回定期総会

すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります



5月27日（木）、ラポール京都2階大ホールにおいて、「連帯・共同で安心・共生の福祉社会をつくろう」をスローガンに、京都労福協第65回定期総会を開催した。総会は原副会長の開会挨拶で始まり、議長に連合京都の土淵副事務局長を選出、来賓には京都府より、商工労働観光部企画調整理事兼副部長・河島幸一様、京都市より、文化市民局共生社会推進室真のワークライフバランス推進・働き方改革担当部長・北條昌代様にご臨席賜り知事・市長の祝辞を頂戴した。

主催者を代表し、廣岡会長より「新型コロナウイルス感染症の「緊急事態宣言」が出る中、第65回定期総会にご出席いただいた代議員・役員の方々に心から感謝を申し上げます。また公務多忙中、ご来賓として



京都府河島氏

京都府から企画調整理事兼副部長・河島幸一様、京都市真のワークライフバランス推進働き方改革担当部長・北條昌

代様にもご臨席いただき、御礼を申し上げます。また、府内



京都市北條氏

10地区労福協、事業団体等の皆様にも物心両面に渡り、ご支援・ご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

新型コロナウイルスに関して、ようやくワクチン接種がはじまった。感染者を押さえ込むまでには至らない状況であるが、「緊急事態宣言」が再度延長され、6月20日まで延長がされようとしている。新型コロナウイルス感染症の収束を見ない中で、医療従事者をはじめ、エッセンシャルワーカーの皆さんの献身的な働きにより、多くの人々が不安を取り除き、安全・安心の生活を送れていることに感謝を申し上げたい。経済も含め生活環境が大きく様変わりしていく中で、すべてにおいて感染症対策を実行し行動していく事が重要である。皆様に迅速な情報提供をする中、感染症対策に取り組んでまいりたい。労福協は昨年、国や地方自治体にたいし、新型コロナウイルス感染症に関する要請を実施した。働くすべての人が、あるいは生活者が大変な思いをしている、そういった中、雇用を守るための雇用助成金が活用されている。しかし新聞報道にもあるように4兆円を上回った財源がもう涸渇して一般財源から捻出しなければ、雇用助成金制度そのものが維持できない状況になってきている。国をあげて、そのことを継続していただかなければ雇用が失われ、経済が停滞する。そういったことが起こらないよう、しっかりと中央労福協とも連携し、取り組みを推進する。

もうひとつに、東日本大震災から10年が経つ中で、いまだ、避難生活を余儀なくさ

れる方が多くおられる。6月に福島において10年を経た中での復興状況を確認する事も含め、全国から結集しようと、中央労福協からご案内をいただいたが、残念ながら今の「緊急事態宣言」が解除されない中で現地での集会は中止となり、Web開催というカタチとなった。Web開催であり、多くの皆さんに見ていただき、今の福島の現状等を知っていただきたい。また台風シーズンでも有り、風水害、自然災害は私たちの身の回りにいつ起きるか分からない状況にあり、東日本大震災も含め、私たちが出来ること、しっかりと横の連携をし、行政の皆様とも連携を図りながら対応をしていく。

京都労働者福祉協議会は、65回を数える総会を迎え、設立されてもう64年が経った。働くすべての人たちのために活動を進めてきたが、これまでの活動を振り返り、本当に困っている人たちのために、労働者福祉協議会として何ができるのかを、京都府、京都市、近畿労金、こくみん共済coop、その他の事業団体の皆さんも含め、ここに集う多くの皆様と共に確認をし、しっかりとこの1年間、活動を推進する事をお互い確認したい」と挨拶があった。

引き続き議案審議に入り、2020年度活動報告、会計・監査報告を満場一致で承認の後、2021年度活動方針（案）、予算（案）、規約・規定の一部改正（案）、役員の補充、功労者表彰、スローガンを提案、採択され、第65回定期総会を終了した。



廣岡会長

役員

会長	廣岡 和晃	事務局長	篠原 輝雄	理事	岡本 哲也	理事	高取 淳	会計監査	古谷 茂
副会長	原 敏之	理事	青山 勲	〃	中野 宏之	〃	藤原 節夫	参事(京都府)	鈴木 一弥
〃	柳生 剛志	〃	鍛冶 淳志	〃	坂田 政春	〃	小林 純	〃(京都市)	古川 真文
〃	橋元 信一	〃	師玉憲治郎	〃	福島 功	〃	佐伯 敏男		
〃	岸本 満	〃	松山 裕二	〃	市田 佳之	〃	山縣 哲也		

丹後地区



糸井会長

丹後地区労働者福祉協議会では、7月12日（月）に京丹後市のプラザホテル吉翠苑において、第21回定期総会を開催しました。コロナ禍ということで来賓の方の出席はご遠慮いただき、メッセージを頂戴し、代表して京都府丹後広域振興局様のメッセージをご紹介させていただきました。

総会では、2020年度の活動報告および会計・会計監査報告、2021年度の活動方針および予算・3名の役員が交代した新役員体制などのすべての議案が満場一致で承認されました。

2020年度は、予定していた多くの活動がとなり中止となり残念な結果となりましたが、今後も宮津地区労働者福祉協議会と連携し、社会貢献活動・自治体要請行動・グランドゴルフ大会などに積極的に取り組むこと、また会員相互の交流を深めるためにボウリング大会、メーデー前夜祭など、取り組んでいくことが確認されました。

口丹地区

口丹地区労働者福祉協議会は、2021年6月30日（水）ガレリアかめおか2階会議室において、『第27回 定期総会』を開催しました。前島事務局長の挨拶で開会が宣言され、議長・議事運営委員・資格審査委員・書記の各委員の任命に続いて、代議員11名のうち出席者8名、委任状2通で総会成立要件を満たしていることが確認されました。まず初めに俣野会長の挨拶があり、続いて京都労働者福祉協議会の篠原事務局長様、こくみん共済coop飯田次長様より祝辞を賜った後、議事に入りました。事務局より2020年度の活動経過と会計決算を報告し、2021年度の活動方針（案）と予算（案）について提案し、満場一致で採択されました。



俣野会長

宮津地区

7月9日（金）、宮津市・ミッブルにおいて第50回定期総会を開催しました。

当日は、来賓として京都労福協・廣岡会長様、こくみん共済coop〈全労済〉大久保部長様にご出席いただきました。

宮津地区労福協・藤原会長が、「昨年からのコロナ禍により、労福協活動も自粛を余儀なくされたが、活動を新しい方向へ導いてくれる可能性もある。これまで地域に見える活動、社会貢献活動を模索してきたが、医療用ガウンの寄付活動ができた。今年度は創立50周年記念を迎える。京都労福協、丹後地区労福協とも連携しながら、新たな運動を展開していきたい」とあいさつ。来賓を代表して、京都労福協・廣岡会長様からお言葉をいただきました。提案された議案が承認され、また、役員の改選により2021年度の体制が発足しました。



藤原会長

乙訓地区

2021年6月18日（金）乙訓地区労働者福祉協議会第46回定期総会を书面決議により開催しました。開催にあたり京都労働者福祉協議会会長の廣岡様より、お祝いのメッセージを頂戴しました。

総会では2020年度活動報告、2020年度会計報告および会計監査報告が全会員の賛成で確認されました。2021年度活動方針、2021年度予算、2021年度役員体制についても全会員の賛成で承認されました。乙訓地区労福協では活動方針に則って、各種関連事業団体との連携を図り利用促進に向けた取り組みを強化します。乙訓2市1町（長岡京市、向日市、大山崎町）への自治体要請を行い、地域勤労者の課題解決に取り組みます。また、会員の健康増進、親睦・交流を深めるため、ボーリング大会やチャリティイベント、ライフプランセミナーなどを開催して参りますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

舞鶴地区

（一財）舞鶴勤労者福祉協議会では2021年6月17日（木）舞鶴市勤労者福祉センターホールにおいて開催しました。

緊急事態宣言発令中ではありましたが、昨年同様規模を縮小、理事・監事及び評議員のみの必要最小限での出席者にて実施となり、評議員12名中10名の出席により成立しました。

木村副理事長の司会で開始、先ず議長に水口一也（連合京都北部地域協議会）評議員が選出され、冒頭に長柄理事長が「この一年間は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による緊急事態宣言発令が、現在の第4波と未だ収束が見えない状態が続いている中、各行事も感染症防止対策を充分に取りながら、実施できるものは開催し、不可能な物は中止せざる得ない状況にありました。……。」と挨拶を行い、以後各議案の審議が行われ、全て出席評議員全員の承認を得ました。



評議員会風景（長柄理事長）

南地区

南労福協の2021年度の定期総会は6月18日（金）、昨年に引き続き书面決議の開催となりました。第1号議案～第5号議案のすべての議案に対して賛成多数で承認されました。2020年度は新型コロナウイルスの影響により従来おこなっていた活動ができませんでしたが、医療用ガウンの提供や災害ボランティア登録など社会的支援活動に参加をしました。次年度はコロナ過の中でどのような活動ができるか検討をしたいと思います。また、このような状況下で働き方や生活様式も変わってくると思います。南労福協としてどのような福祉活動ができるかも検討をしていきたいと思います。



福知山地区



佐藤会長

福知山労福協では、7月9日（金）第18回定期総会を行いました。

緊急事態宣言を受け、約1ヵ月の延期となりましたが、各代議員にお集まりいただき、盛会裏に総会を終えることが出来ました。

来賓としては、福知山市から産業政策部次長の山内様、京都労福協から事務局長の篠原様、地区労福協顧問でもある市議会議員の芦田様のお三方よりご祝辞をいただきました。

すべての議案が確認され、2021年度の方針が確認されました。アフターコロナに向け、徐々に活動を元に戻していくとともに、今後新たな活動も模索してまいります。

伏見地区

本年度の総会は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、書面での開催とし、会員の皆様に賛否のご確認をいたしました。

議案（1）2020年度活動報告（2）2020年度会計報告、（3）会計監査報告、（4）2021年度活動方針（案）、（5）2021年度予算（案）、（6）役員体制（案）の書面提案にて、開催期間を6月7日（月）から6月18日（金）とし反対意見などもなかったことより6月18日（金）に議案確定とさせていただきました。緊急事態宣言中での総会で、2年連続の書面開催となったことは残念であるが、今後ワクチンの普及とともに、通常活動を取り戻し、会員の皆様のご協力を得ながら、新たな取り組みを含め活動を進めていきます。

綾部地区

7月14日（水）、綾部市市民センター 研修室において、綾部勤労者福祉協議会第41回定期総会を開催しました。

来賓に京都府中丹振興局農商工連携推進課・小塩課長、京都労福協・廣岡会長、連合京都中部地域協議会・宮西副議長、こくみん共済coop・坂内課長にご臨席いただきました。当日は綾部市長からもお祝いのメッセージをいただきました。

総会では、2020年度活動報告および会計・会計監査報告、2021年度活動方針（案）、予算（案）、規約改正（案）、役員改選（案）の提案が行われ、すべての議案が満場一致で承認されました。

2021年度は、昨年同様「連帯・協同で安心・共生な福祉社会をつくろう!」のスローガンを掲げ取り組んでいきます。各種イベントやセミナー、社会貢献活動、自治体要請行動など行うことによって勤労者の福祉向上に取り組んでいくことを確認し、閉会となりました。



前本会長

南山城地区

2021年6月22日（火）に「第30回南山城地区労福協定期総会」が宇治市産業会館において、開催されました。

総会は、議長に城南衛生管理組合の窪田真二さんを選出し、進められました。

来賓として、京都労福協・廣岡会長、近畿ろうきん京都地区本部・岩崎事務局長、こくみん共済coop京都推進本部南部推進課・柴田課長にご出席くださり、ご挨拶を賜りました。

また主催者を代表し山本会長より、「長引く新型コロナ感染の影響で各種行事の中止を余儀なくされた事、コロナ禍での活動に京都労福協の支援を受けながら社会貢献などの活動を少しでも進められた事、今年度もコロナ禍の中での活動を進めていく事について考える総会である」と挨拶がありました。

第1号議案2020年度活動報告と会計報告・会計監査報告、第2号議案2021年度活動方針案、第3号議案2021年度予算案、第4号議案2021年度役員体制案、すべての議案について承認され、2021年度の活動をスタートさせました。



総会風景

3 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急要請行動

京都府要請

2月24日（水）京都府庁旧館2階2-K会議室において、京都府からは、河島商工労働観光部副部長、石塚課長、平島課長補佐兼係長、酒部主事が出席され、京都労福協からは、廣岡会長、篠原事務局長が出席する中、「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急要請書」を、提出しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、労働者を取り巻く状況は悪化の一途を辿っており、雇用不安や奨学金を抱える若者、過大な負担を抱える医療・介護等現場の方々、経営危機に陥る中小・小規模事業者等の問題解決に向けて、7点に渡る要請内容について趣旨説明を行い京都府の考え方を説明いただきました。



京都府商工労働観光部 企画調整理事兼副部長 河島幸一氏へ

京都市要請

2月16日（火）京都市職員会館かみがわにおいて、京都市からは、別府文化市民局長、原真のワーク・ライフ・バランス推進・働き方改革担当部長、太田男女共同参画推進課長、伊藤真のワーク・ライフ・バランス推進・働き方改革係長、松平共生社会推進室担当が出席され、京都労福協からは、廣岡会長、篠原事務局長が出席する中、「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急要請書」を、提出しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、労働者を取り巻く状況は悪化の一途を辿っており、雇用不安や奨学金を抱える若者、過大な負担を抱える医療・介護等現場の方々、経営危機に陥る中小・小規模事業者等の問題解決に向けて、7点に渡る要請内容について趣旨説明を行い京都市の考え方を説明いただきました。



京都市文化市民局長 別府正広氏へ

4 社会的支援活動

京都労福協は、新型コロナウイルス感染症拡大による、逼迫する医療・介護従事者にたいする支援を継続するため、京都府・京都市にたいし「医療用ガウン」「不織布マスク」の第2次支援活動を展開しました。また、第2次支援行動では、福知山・口丹・南・伏見・南山城労福協もそれぞれの地域自治体を通じて医療・介護現場への支援活動に取り組みました。

京都労福協は、今回の社会的支援活動において、第1次、第2次をあわせ、府下19自治体にたいし、累計で16,120枚の「医療用ガウン」、10,000枚の「不織布マスク」を寄贈しました。各自治体からは感謝の言葉を多く頂戴するとともに、新聞報道等もありました。引き続き京都労福協は、社会的役割を果たすため、福祉事業団体、10地区労福協、京都府、京都市をはじめ地域自治体と共に労働者福祉運動に取り組みます。

京都労福協

■2月16日（火） 京都市 不織布マスク寄贈 10,000枚

京都市 不織布マスク贈呈式

令和3年2月16日（火）京都市役所第一応接室において、京都市内の児童福祉施設等での「新型コロナウイルス感染症」予防対策に役立てていたため、門川大作京都市長に「不織布マスク」10,000枚を寄贈しました。

京都市からは、門川大作市長、塩山晃弘子ども若者未来部長が出席され、京都労福協からは廣岡会長、篠原事務局長が出席。

廣岡会長は「コロナ禍で社会・経済は疲弊し、雇用の悪化や生活困窮者が増加し、社会的弱者へ、そのしわ寄せが集中しています。今回、そのような社会的に弱い立場である方々を守る、障害者施設や児童福祉施設等で少しでも予防対策の一助になれば。」と意思を伝え、門川市長に目録を手渡しました。

門川市長は「すばらしいお志に感謝いたします。有効に使わせていただきます。」と御礼の言葉を述べられ、廣岡会長に感謝状が贈られました。



京都市門川大作市長より感謝状を授与される
(左より篠原事務局長、門川市長、廣岡会長)

京都労福協・南地区労福協・伏見地区労福協

■3月15日（月） 京都市 医療用ガウン寄贈 1,080枚

京都市 医療用ガウン贈呈式

令和3年3月15日（月）京都市役所第一応接室において「新型コロナウイルス感染症」と闘う医療従事者への支援のため、門川大作京都市長に、2回目となる「医療用ガウン」1,080枚を寄贈しました。

京都市からは、門川大作京都市長、別府正広文化市民局長、原真弓真のワーク・ライフ・バランス推進・働き方改革担当部長が出席され、京都労福協からは廣岡和晃会長、篠原輝雄事務局長、伏見地区労福協からは辻村法雄会長、南地区労福協からは西田裕事務局長が出席。

廣岡会長は「収束の兆しが見えないコロナ禍の状況下で、医療・介護現場で働く仲間は、疲弊しながらも必死でコロナウイルス感染症と闘い続けておられます。少しでも役に立てていただければ」と意思を伝え、西脇知事に目録を手渡しました。

門川市長は「度重なるご支援ありがとうございます。」と感謝の言葉を述べられ、廣岡会長に感謝状が贈られました。



京都市門川大作市長へ目録を手渡す



京都市門川大作市長より感謝状を授与される
左より篠原事務局長、南・西田事務局長、廣岡会長、
門川市長、伏見・辻村会長

京都労福協

■3月23日（火） 京都府 医療用ガウン寄贈 1,080枚

京都府 医療用ガウン贈呈式

令和3年3月23日（火）京都府庁部局会議室において、「新型コロナウイルス感染症」と闘う医療従事者への支援のため、西脇隆俊京都府知事に、2回目となる「医療用ガウン」1,080枚を寄贈しました。

京都府からは、西脇隆俊知事、山下晃正副知事、鈴木一弥商工労働観光部長、石塚健一人材確保・労働政策課長が出席され、京都労福協からは廣岡和晃会長、篠原輝雄事務局長が出席。

廣岡会長は「医療用ガウンが非常に逼迫しており、“何枚在っても良いだろう”ということから、医療・介護含めて、密接してやらなければならない事が沢山ある。京都府にお任せして活用いただけたらと思う」と意思を伝え、西脇知事に目録を手渡しました。

西脇知事は「貴重なご支援ありがとうございます。」と感謝の言葉を述べられ、廣岡会長に感謝状が贈られました。



京都府西脇隆俊知事へ目録を手渡す



京都府西脇隆俊知事より感謝状を授与される

南山城地区労働者福祉協議会

■城陽市 医療用ガウン寄贈 600枚（感謝状授与）
■八幡市 医療用ガウン寄贈 360枚（感謝状授与）
■久御山町 医療用ガウン寄贈 480枚（感謝状授与）

宇治市 医療用ガウン贈呈式

■3月12日（金） 宇治市 医療用ガウン寄贈 1,080枚

南山城労福協では京都労福協との連携のもと、社会的支援活動として南山城地域の5市1町に対し、医療用ガウンの寄付活動を行い、3月12日（金）、宇治市役所において医療用ガウン1080枚を寄贈しました。

贈呈式には南山城労福協より、川戸副会長、鶴ノ口事務局長、中西事務局次長の3名が出席し、宇治市より松村あつこ宇治市長、藤田佳也宇治市健康長寿部部長が出席され、贈呈式が行われました。

贈呈式では川戸副会長より松村市長に目録が手渡されたあと、市長より宇治市のコロナ感染状況や医療現場の現状についてのお話があり、川戸副会長より「先行き不透明な今後の新型コロナ対策や、ワクチン接種などの場面に活用してください。南山城労福協としても協力させていただきます」とのメッセージに、松村市長より「医師会や歯科医師会など医療関係者からの意見を仰ぎながら、地元の医療機関に配布、活用させていただきます」とのお言葉をいただきました。



宇治市役所 松村あつこ市長へ医療用ガウンを寄贈

木津川市 医療用ガウン贈呈式

■3月23日（火） 木津川市 医療用ガウン寄贈 360枚



木津川市役所 河井規子市長より感謝状を授与される

南山城労福協では京都労福協との連携のもと、社会的支援活動として南山城地域の5市1町に対し、医療用ガウンの寄付活動を行いました。3月23日（火）、木津川市において医療用ガウン360枚を寄付しました。

贈呈式には、南山城労福協より、山本会長、鶴ノ口事務局長、中西事務局次長の3名が出席し、木津川市より河井規子木津川市長、小林史総務部理事が出席され、山本会長より医療用ガウンが寄贈されました。

贈呈式では、河井市長より木津川市のコロナ感染の状況や、医療現場の現状などについてのお話があり、山本会長からは「逼迫した医療現場や、今後のコロナ対策、ワクチン接種などの機会にこの医療用ガウンを活用していただくよう、お願いします。今後も南山城労福協としても協力させていただきます」と思いを伝えられました。

京田辺市 医療用ガウン贈呈式

■3月26日（金） 京田辺市 医療用ガウン寄贈 360枚

南山城労福協では京都労福協との連携のもと、社会的支援活動として南山城地域の5市1町に対し、医療用ガウンの寄付活動を行いました。3月26日（金）、京田辺市役所において医療用ガウン360枚を寄贈しました。

この日は南山城労福協より、山本会長、中西事務局次長、京都労福協より篠原事務局長の3名が出席、京田辺市より上村崇市長、辻村徳夫理事、古谷隆之安心まちづくり室担当課長の3名が出席され、医療用ガウンの贈呈式が行われました。

贈呈式では、上村市長より京田辺市のコロナ感染状況や対策について、また医療現場の現状など多岐にわたるお話があり、山本会長より「南山城労福協として新型コロナ対策について、何かできることがあれば、ぜひ協力させていただきたい。今後進められるワクチン接種や、各医療現場でガウンが活用されるようによろしくお願いします」と思いを伝えられました。



京田辺市役所 上村崇市長より感謝状を授与される

口丹地区労働者福祉協議会

■3月22日（月） 南丹市 医療用ガウン寄贈 600枚
■3月22日（月） 京丹波町 医療用ガウン寄贈 480枚

南丹市・京丹波町 医療用ガウン贈呈式

口丹地区労働者福祉協議会は、「新型コロナウイルス感染症」における社会的支援活動として、京丹波町役場にて太田昇町長に医療用ガウン480枚、南丹市役所にて西村良平市長に医療用ガウン600枚を寄贈いたしました。ご両名とも管内の医療現場へ迅速に配布することをお約束いただきました。また、当日は両市町の現況を伺い、新型コロナウイルスに対するワクチン接種が4月中旬より開始されることになりましたが、自治体に対してはワクチンの配布量が少ない事や、ご高齢の方のワクチン接種については接種会場までの移動問題など、接種開始に対しての課題、問題点を情報共有していただきました。

なお、本活動は京都労福協の協賛によって実現しました。



南丹市役所 西村良平市長へ目録を手渡す



京丹波町役場 太田昇町長へ目録を手渡す

福知山地区労働者福祉協議会

■3月26日（金） 福知山市 医療用ガウン寄贈 1,080枚

福知山市 医療用ガウン贈呈式

福知山労福協では、3月26日（金）一般社団法人福知山民間社会福祉施設連絡協議会に、京都労福協とともに、使い切りの医療用ガウン1080枚を寄贈しました。同法人のある市内中六人部会館で贈呈式を行いました。

贈呈先の選定理由は、公立の病院や施設には比較的物資が供給されているが、民間の施設ではかなり厳しい状況との情報を市よりいただき、決定をいたしました。

先方からは、「対策用品は状況によって不足したり、高騰したりすることもあり、いくつあっても助かります。本当に有難うございます」とのお言葉をいただきました。今後も市民に顔の見える活動をしっかりと行っていききたいと思います。



（一社）福知山民間社会福祉施設連絡協議会にて

TOPIC
5

京都労福協 街頭活動

■3月30日（火）12：00～ リーフレット 1,300枚配布
■3月31日（水）12：00～ リーフレット 1,100枚配布

3月30日（火）、31日（水）四条・烏丸通り交差点付近において、京都労福協が行う労働者福祉活動や理念を、広く地域・市民の皆様に知っていただき「地域に根ざした福祉活動」を充実したものとするため、街頭でのリーフレット配布活動を実施しました。

京都府、京都市からの施策紹介、京都労福協の活動紹介リーフレットをそれぞれ3枚一組にし、不織布マスクを合わせて封入したものを、街頭で配布しました。

当日は、加盟労組、事業団体、京都市から参加をいただき、多くの皆様の協力の下、実施できました。翌日にはライフサポートセンターへ「リーフレットを見た」と生活相談の電話が入るなどの成果もありました。引き続き労働者福祉運動を広く市民の皆様周知し、活動への理解が得られるよう取り組みを進めます。



KYOTO LIFE SUPPORT CENTER

ひとりでも悩んでいませんか
暮らしなんでも
無料相談

「こんな相談できるかな？」
「うまく説明できないかな？」
「わかってもらえるかな？」
そんな心配はひとまず置いて、
とにかく一度お電話ください。
一緒に解決策を探しましょう。

どのように解決するの？
相談内容に応じた、解決策を見つけます。
行政・社会福祉協議会・弁護士・
司法書士・社労士・税理士・行政書士・
社会福祉士・精神保健福祉士・NPO
など専門家のネットワークにつなぎ、
安心・安全な暮らしを応援します。

相談は無料です。
ただし、裁判や実務依頼については
弁護士、税理士、社会保険労務士など
の費用が必要になる場合があります。

きょうとライフサポートセンター

相談のご案内

まずお電話ください。

「こんな相談できるかな？」

「うまく説明できないかな？」

「わかってもらえるかな？」

そんな心配はひとまず置いて、

とにかく一度お電話ください。

一緒に解決策を探しましょう。

どのように解決するの？

相談内容に応じた、解決策を見つけ

ます。行政・社会福祉協議会・弁護士・

司法書士・社労士・税理士・行政書士・

社会福祉士・精神保健福祉士・NPO

など専門家のネットワークにつなぎ、

安心・安全な暮らしを応援します。

相談は無料です。

ただし、裁判や実務依頼については

弁護士、税理士、社会保険労務士など

の費用が必要になる場合があります。

相談の電話が鳴ります。受話器から、『もしもし、ど
んな相談でもよいですか？』相談者の最初の言葉でした。
「はい!! 何でもどうぞ」と相談が始まります。

とにかく、相手の話を聴く。そして共感する。一緒に
悩んだり考えたりしながら、前を向く事が出来る様に少
しずつ働きかけて行く。そういう事を基本にしました。

最後に相談者から、『落ち着きました』、『安心しました』、
『電話をして良かったです』等々。私は、とても嬉しく
なりました。

どんな世代でも、男女関係なく、一人で悩まず、誰か
に話しをしてみましょう。相談してみましょう。きっと解決出来ますよ。そう考えて、4年
間電話相談を続けています。



こくみん共済coop〈全労済〉OB
白石マリ子 相談員

近畿ろうきんのキャッシュカードは、 全国のATMで使えて便利!

しかも、土曜・日曜・祝日はもちろん、
時間外手数料が必要な時間帯であっても、
ATMお引出し手数料は
返ってきます。

実質無料



お引出し手数料実質無料のATM

●提携先金融機関(都銀、信託銀、地銀、第二地銀、信金、信組、JAなど)

●ゆうちょ銀行 ●セブン銀行

お引出し手数料不要のATM

●全国のろうきん ●イオン銀行 ●ローソン銀行

●コンビニ(ファミリーマートなど)

※振込手数料は、本サービスの対象外です。

近畿ろうきん京都地区本部 TEL 075-801-7317

お問い合わせ (月曜～金曜 9:00～17:00)

(祝日、12月31日～1月3日は除く)

「220131」194-2021-003

こくみん共済 NEWS
2721W001

「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、次のステージへ

こくみん共済〈全労済〉
公式キャラクター
ビートくん

たすけあいの輪をむすぶ

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

こくみん共済 coop〈全労済〉京都推進本部
(全京都勤労者共済生活協同組合)
HP: <https://www.zenrosai.coop/>

働くうえで役立つ知識・技能・教養を身につける総合学習施設

府市民教室受講生：募集中
京都労働学校秋期生：9月3日(金)午前10時 募集開始!
(英会話・パソコンなど)

ラボール学園
(公益社団法人 京都勤労者学園)

ラボール京都3F ☎ 075-801-5925

ラボール学園 検索

西院駅徒歩1分

大ホールと中小会議室
全12室

お気軽にご利用ください。

公益財団法人
京都労働者総合会館

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30-2(四条御前)

TEL 075-801-5311
<http://laborkyoto.jp/>

事務機器・車リース・旅行のことなら

ユニオントラベル京都
エル・ユニオン京都

京都府知事登録 第3-554号
全国旅行業協会 (ANTA会員)

事務所所在地はラボール京都6階
(京都労福協内)

TEL 075-801-1501 FAX 075-802-4568
ホームページ <http://uniontravel.jp>
メールアドレス info@uniontravel.jp

京都の生協の連合体が京都府生協連です

誰もが安心してくらせる
地域・社会をめざして

京都府生活協同組合連合会

〒604-0857 京都市中京区烏丸通二条上る 蔭絵屋町258番地
コープ御所南ビル4階
TEL.075-251-1551